

吉野川市こどもまんなかプロジェクト

こどもD o まんなか会議2026

〈意見集約〉



#こどもまんなかやってみた

こども未来課

テーマ①「”こんな学校だったらいいな”を考えよう！」

グループA（小学生）

（設備）

- ・木のできた遊具がほしい
- ・校庭に花をたくさん植えてほしい
- ・体育館にエアコンがほしい

（学び・交流）

- ・ボードゲームで大人と遊べる時間がほしい ・人との交流をもっと増やしたい
- ・お楽しみ会をしたい ・自由な時間がほしい

（生活）

- ・私服にしてほしい ・髪ゴムなどの制約を緩和してほしい
- ・班で給食を食べる機会がほしい ・給食のデザートを増やしてほしい

グループB（小学生）

- ・障がいの有無にかかわらず安心安全で楽しい学校
- ・運動場に遊具をもっと増やしてほしい
- ・体育館にエアコンをつけてほしい
- ・図工室を作してほしい
- ・きれいなプールがほしい（暑さ対策として屋内プールなど）
- ・給食をランチルームや食堂で食べる機会を作してほしい
- ・休み時間を長くしてほしい
- ・ニコニコ会（先生と児童が1対1で話せる時間）が続いてほしい
- ・勉強が終わったら早く帰りたい（帰りの会の内容を考え直す）
- ・校区をもっと増やしてほしい

グループC（小学生）

- ・夢を応援してくれる相談室がほしい（パティシエや看護師など専門的なこと）
- ・給食を集まって食べたい、おいしい給食が食べたい
- ・イベントが多い
- ・地元の体験などができる
- ・暑さ対策の徹底
- ・他校との交流機会
- ・実験授業を増やす
- ・体育館の通信環境の改善
- ・セキュリティ強化
- ・校庭がきれい

- ・校内放送の時間を給食の時間からずらす
- ・休み時間を増やす
- ・バスでの登下校ができる

グループD（小学生）

テーマ：アグレッシブな学校

- ・積極的に勉強する学校
- ・自習スペースがほしい
- ・プログラミングを学びたい
- ・ボランティア活動をしたい
- ・トイレを増やしてほしい
- ・体育館にエアコンがほしい
- ・校庭を芝生にしてほしい
- ・忘れ物をしない学校にしたい
- ・自転車通学できるようにしてほしい

グループE（中学生）

- ・各学校に特徴や良さを作る
- ・学校の設備を整える（ウォータークーラーやサーキュレーター・プロジェクターなど）
- ・制服のデザイン（ブレザー希望）
- ・アンケートや目安箱を設けるなどして、学校全体の意見を聞き、交流を深められるようにする
- ・異なる学校同士の交流機会を増やす。

グループF（高校生）

（学習）

- ・選択授業の種類を増やす
- ・授業の短縮（集中力の維持）
- ・他の学校との交流

（生活）

- ・校内にコンビニがほしい
- ・修学旅行先を選択制にする
- ・修学旅行の内容を体験多めにしてほしい
- ・頭髮の自由

（部活）

- ・外部コーチの雇用（専門的な指導のため）

テーマ② 吉野川市の”もったいない”を”もっといい”に変えよう！

グループA（小学生）

もったいないところ

- ・商店街があるのに店が少ないところ
- ・自然が多いのにそれを活かした体験が少ない
- ・市民プラザの活用方法
- ・大きいショッピングモールがない
- ・魅力的な風景や場所が知られていない

もっといいにするために

- ・パンフレットに吉野川市の活動を増やす
- ・秋と冬にも祭りとスポーツ大会を増やす
- ・人気キャラクターとのコラボ
- ・自然を活かしたホテルや旅館、アスレチックを作る
- ・広い公園を使ってイベントを開催する
- ・商店街に駄菓子屋やレストランを作る
- ・動物と触れあえる場所があるといい
- ・こどもから大人まで集まれて、気軽に相談できるような場所を作る
- ・職業体験の場を作る

グループB（小学生）

- ・広い公園があるけど禁止事項が多い→自由にしてほしい
- ・吉野川マルシェに来ている人が少ない→新しい店を出したり流行りのものを売る
- ・空き家が多い→こどもたちが自由に使える場所にする
- ・自然を生かし切れていない→川で遊ぶなどイベントを増やす こども向けのイベントを増やす
SNS で発信することでリピーターが増えるようにする
- ・オブスタクルスポーツの練習場の活用→もう少し簡単なアスレチック施設を作ってみる
- ・公園のトイレについて→新しくする
- ・給食の食べ残しが多い→はじめに減らす、月1アンケートをとる（おにぎり・ふりかけ・ジャム・おいしい牛乳などの採用）
- ・ヨッピーとピッピーを活用する→イベントに呼ぶ（運動会など）

グループC（小学生）

- ・土地が余っている→有効活用する（遊具を作る）
- ・山川少年自然の家が使われていない→イベントや登山客の休憩所、マルシェやお年寄りの交流会
- ・雑木林が多い→観光客のための宿泊施設を作る
- ・自然豊かなのにゴミがポイ捨てされている→リサイクルボックスを作る

- ・野良犬や野良猫が多い→愛護施設を作る
- ・学校の人数が少ない→合併し、余った学校はイベントで使ったり、ボールを使えるスペースを設ける、物資を蓄えておくスペースとして活用する

グループD（小学生）

- ・空き家が多い→空き家を壊して公園やお店、駐車場などに活用する
- ・給食やお店で余ってしまうものがもったいない→みんなで買ってきたものを食べられる場所を作りたい
- ・今ある公園をよりよくする
- ・遊べる場所をつくってほしい
- ・吉野川市の魅力をCMやSNS、看板、チラシなどを使って広める
- ・商店街に人が集まるようにする

グループE（中学生）

- ・たくさんの自然を満喫できるイベントが少ない→自然の中のアスレチックを作る
- ・良い公園やスペースがあるのに人が来ない→遊具を新しく、こどもの遊び場をきれいにする
- ・使っていない土地の有効活用→古民家カフェ、室内の遊び場、鴨島商店街の活性化
ショッピングモール、外国人移住者のシェアハウス用住宅を作る
- ・広報の方法を変える（ショート動画、県外や市外にチラシ）
- ・吉野川市でしかできないことをできる場を作る
- ・吉野川市の映画「道草キッチン」を全国に広める
- ・SNSで市の良さを発信する大会などをする。
- ・生徒と外国人で交流活動を行う（和紙作りなど）

グループF（高校生）

- ・駅前のシャッター街と若者の減少→SNSを使ってアピールし、ここに住みたいと思わせる
- ・空き家や使わなくなった施設が多い→リフォームして安く売る
- ・遊び場が少ない→大きい商業施設を建てる
- ・自然が多いが活用できていない→遍路道をマラソンコースとして使う
吉野川をコースとしたボートやカヌー体験
- ・特産品の知名度が低い→水都祭や吉野川フェスティバルで特産品を販売
特産品を使ったご飯屋を作ってアピールする
- ・汽車の本数が少ない、バスを使うことが少ない→1時間に3〜4本に増えると良い
- ・果物や野菜を収穫できるイベントがなくなった
- ・ドラッグストアが集まっている→ゲームセンターに変える
- ・小さい子が遊べる施設が少ない（遊園地など）→町内の公園の数を増やす